

最近では、スポーツ界においてもジェンダー平等や女性活躍の場が注目され、さまざまなスポーツシーンで女性の活躍が話題になっていきます。そこで、令和5年度は「女性とスポーツ」をテーマに取り上げ、啓発事業を実施しました。女子プロサッカーリーグのWEリーグ(※4)は、サッカーを通して、ジェンダー問題の解決や多様性のある社会、女性活躍社会実現の推進という特徴的な取り組みをしています。そのWEリーグ理事長、高田春奈氏の講演と、吉川市出身の女子プロサッカー選手である南萌華選手のメッセージ上映を令和5年11月25日、おあしす多目的ホールで行いました。



※4 WEリーグはWomen Empowerment Leagueの略称。令和3年9月に開幕した日本初の女子プロサッカーリーグ。この名称には、日本に「女子プロサッカー選手」という職業が確立され、リーグを核に関わる私たちがみんな(WEM)が主人公として活躍する社会を目指す、という思いが込められています。

「WEリーグの理念」
女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。

●WE LEAGUE

ブランドモチーフの「●(ドット)」は、「サッカーの躍動感」「新たなつながり」「これからの日本」を表しています

たかた はるな 高田 春奈氏

公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)理事長

長崎県出身。大学を卒業後、ソニー入社。主に人事を担当。2005年から人事コンサルティング会社、広告代理店経営を経て、2015年ジャパネットホールディングス取締役に就任。2018年JリーグV・ファーレン長崎の上席執行役員兼務、2020年代表取締役社長に就任。Jリーグ理事(社会連携担当)に就任し、2022年9月よりWEリーグの2代目チェアに就任。現在、JFA副会長、Jリーグ特任理事、全日本大学サッカー連盟理事などを兼任。



©WE LEAGUE

高田春奈氏の講演

女性をもっと活躍する社会のために

高田春奈氏がWEリーグのチェアになった理由

①女子サッカーに成長の可能性を感じました。日本女子サッカーは、FIFAワールドカップにおいて、世界から尊敬され、さらなる可能性を秘めています。再び世界一を目指し、世界のトップクラスであり続けたいです。

②女子サッカーがもっと注目されることで、女性が活躍する社会のモデルとなり、より良い社会づくりに貢献できるのではと思います。

個性的な選手たちが自信と勇気を持って活躍する姿が、女性活躍社会をけん引するロールモデルとなるために、女子サッカーの社会的な位置付けを高めていきたいと思っています。

WEリーグの取り組み(一部)

・リーグ参入基準(抜粋)

①クラブの運営に女性登用を義務付けている。

※スポーツ組織として日本初の

取り組み。

②ホームスタジアムに託児施設設置を義務付けている。

※産後復帰した選手だけではなく、ファン・サポーター、クラブ関係者、運営スタッフなど、WEリーグに関わるすべての人のことを考えたもの。

・WE ACTION DAY

※選手、クラブ、サポートする人々がリーグの理念実現のために行動をする日のこと。

例1「ジェンダーについて考えよう」をテーマに「大宮アルディージャVENTUS」の選手と地元の中学生在がディスカッションを行った。

例2「子どもたちの未来に夢や希望を」と題し、「ちふれASエルフェン埼玉」の選手が少女サッカークラブの子どもたちと身体を動かし、多様性や夢について一緒に考えた。



写真提供 WE LEAGUE